

広報119

2017春号 vol.23

避難情報の名称が変更!

(詳しくは3ページに)

| (変更前) | (変更後) |
|----------|---------------|
| 避難指示 ⇒ | 避難指示(緊急) |
| 避難勧告 ⇒ | 避難勧告(※変更なし) |
| 避難準備情報 ⇒ | 避難準備・高齢者等避難開始 |



災害に備えて 研鑽を深めよう

一関市防災指導員研修会が平成29年2月25日実施されました
(火災・消防・救急等のセミナーのご希望があれば、各消防署にご相談ください)

6月から10月までの行事予定

| | | | |
|-----------|----------|----------|------------|
| 6月4日～10日 | 危険物安全週間 | 9月1日～29日 | 防火ポスター募集 |
| 6月20日～21日 | 甲種防火管理講習 | 9月3日～9日 | 救急医療週間 |
| 7月1日 | 危険物取扱者試験 | 9月9日 | 救急の日 |
| 7月2日 | 一関市水防訓練 | 10月12日 | 幼年消防大会 |
| 7月中旬～ | 避難所運営訓練等 | 10月21日 | 危険物取扱者試験 |
| 9月1日 | 防災の日 | 10月29日 | 一関地区支部連合演習 |

一関市消防本部のホームページ

WEB
で検索

一関消防

検索

火災などの災害発生情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

秋から春にかけての各種行事



平成28年11月12日(土)、26日(土) 指導者養成講座
消防・防災セミナー指導者養成講座が一関東消防署で開催されました。(写真は救助訓練)



平成28年11月5日(土) 体験スタンプラリー
川崎文化祭で平成28年度第6回川の楽校『『いざるに備える』体験スタンプラリー』が川崎市民センターで行われました。(写真は防火衣着衣体験)



平成29年1月29日(日) 文化財防火訓練
大東町猿沢地内の龍泉寺にて、平成28年度文化財防火訓練が実施されました。地元住民や婦人消防協力隊員らが初期消火訓練を実施しました。



平成29年1月22日(日) 出初式と文化財防火訓練
平泉町にて出初式と文化財防火訓練が行われました。



平成29年2月8日(水) 火伏パレード
藤沢町藤沢字早道地内で、藤沢町火盗難防止会が主催する火伏祭の火伏パレードに幼年消防クラブの年長児30名が参加しました。



平成29年2月 インターンシップ
一関修紅高等学校(平成29年2月1日～3日)と一関学院高等学校(平成29年2月21日～23日)の生徒が一関西消防署においてインターンシップを行いました。



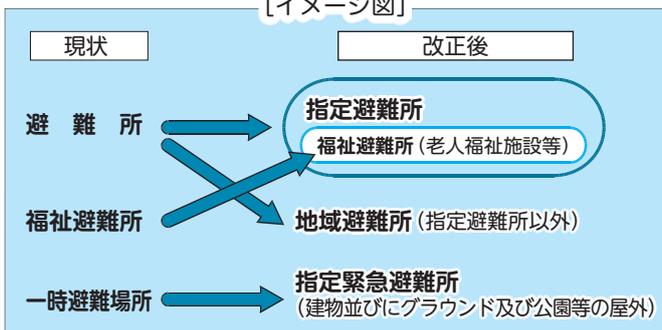
平成29年3月12日(日) 防災フォーラム
川崎市民センターで開催され、岩手大学農学部教授の井井沢道也氏が「住民と共に歩む土砂災害からの減災を目指して」と題して講演したほか、市内在住の千葉貞子さんによる昭和23年9月アイオン台風の体験談「生きる」が語られました。



平成29年3月5日(日) 火災予防パレード
花泉町内にて、消防団と婦人消防協力隊が火災予防パレードを行い、火災予防について呼びかけました。

避難場所等の見直しについて

[イメージ図]



一関市では、避難所や避難場所の見直しを行いました。(平成29年4月より)

この見直しは、災害の種類ごとに避難場所として対応できるか検討したほか、将来を見据えた避難所運営の在り方や行政(公助)や自治会、自主防災組織など(共助)の役割も含め、運営システムから見直そうとするものです。

指定避難所

災害により避難した方が生活するための施設で、市担当職員を配置し、物資の集積拠点となる施設。

地域避難所

災害により避難した方が生活するための施設で、指定避難所と連携して運営する施設。

指定緊急避難場所

切迫した危険から命を守るために急いで避難するところ(命を守るために逃げる場所)。

※指定緊急避難場所は、指定避難所または地域避難所を兼ねる場合があります。

避難情報の名称が変更!

| (変更前) | (変更後) |
|--------|-----------------|
| 避難指示 | ⇒ 避難指示(緊急) |
| 避難勧告 | ⇒ 避難勧告(※変更なし) |
| 避難準備情報 | ⇒ 避難準備・高齢者等避難開始 |

○避難指示(緊急)

緊急に避難して下さい。避難場所への避難が困難な場合は、屋内の高いところや近くの安全な場所に緊急に避難してください。

○避難勧告

速やかに避難を開始してください。避難場所への避難が困難な場合は、屋内の高いところや近くの安全な場所に避難してください。

○避難準備・高齢者等避難開始

お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子供がいらっしゃる方など、避難に時間のかかる方は避難を開始し、それ以外の方については、気象情報に注意し、危険だと思ったら自主的に避難をしてください。

熱中症について

県立磐井病院 救急科長 片山 貴 晶



熱中症とは、身体に影響を与える夏の暑さ環境(暑熱環境)で体が適応できなくなった状態のことをいいます。

特に、重症となる熱中症患者を年代別にみると、高齢者では汗が全く出ていない屋内での日常生活で起こります。対策として、エアコンを使うようにしましょう。若い人では激しい運動や重労働などで起こります。

また、運動中の熱中症は、気温があまり高くなっても(25℃、30℃)、湿度が高い(60%以上)と、重症化することがあります。

暑熱環境での体調不良は、すべて熱中症の疑いがあることを認識しておく必要があります。

予防の基本として、

- ① 暑さを避ける
- ② 服装を工夫する
- ③ こまめに水分を補給する
- ④ 急に暑くなる日に注意する
- ⑤ 暑さに備えた体作りをする
- ⑥ 個人の条件を考慮する
- ⑦ 集団生活の場ではお互いに

配慮することです。さらに、暑さに慣れること、つまり汗をかきやすい体質にしておくことも必要です。

応急手当の基本は、
① 緊急事態の認識
② 安静
③ 暑熱環境の改善
④ 身体冷却
⑤ 汗の蒸発と放熱の促進
⑥ 水分と塩分の補給です。注

意してほしいことは、手足を氷などで冷やすことは、血管を収縮させ、むしろ逆効果です。過剰な水分摂取(水や麦茶などをたくさん飲むこと)は水中毒となり非常に危険です。水分を補充するときは糖分を同時に与え、さらに重炭酸やクエン酸を加えると効率がよいです。スポーツドリンクにはこれらが含まれていますが、塩分が足りないため、ドリンク1リットルに対して、食塩を小さじ半分程度入れることをお勧めします。

田中少年消防クラブが 消防庁長官賞に輝く

大東町曾慶地区の小学生で構成する田中少年消防クラブが、「優良な少年消防クラブ」として消防庁長官賞を受賞しました。表彰式は3月25日(土)に東京都港区の「日本消防会館」で行われました。



緊急の場合は『119番』へ

火事の通報や救急車を呼ぶ時などは119番通報を行う場合のポイントについて紹介します。

気持ちが動転し、あわててしまう気持ちはわかりますが、私たちが出動するためには皆様の的確な情報が必要です。

また、消防署や消防分署へ直接電話をしてしまうと、出動する隊員が電話を受けてしまい、すぐに行動できなくなってしまいます。そのため、緊急の場合は迷わず「119番」へ通報をお願いします。

●通報の4つのポイント

| | |
|-------------------------------|---|
| 火事か救急か | 「火事です。」又は「救急です。」と、はっきりと言う。 |
| 場所 | 住所(場所)は正確に詳しく言う。(番地、世帯主など) ※目標になる建物、交差点、公園などがあれば伝える。 |
| 火事・事故の状況 | 「〇階建ての建物の△階が火事です。」など、何が(誰が)どうしたかを正確にわかりやすく伝える。 |
| 通報者の氏名連絡先 | 「私は〇〇といいます。住所は〇〇町〇〇。電話番号は、△△です。」と、名前を明らかにする。 |
| あわてず落ち着いて、指令センター員の質問に答えてください。 | |

発行日 ●平成29年5月25日
編集 ●一関市消防本部
〒021-0053 岩手県一関市山目字中野140-3
TEL (0191) 25-0119 (代表)

積極的な活動と災害に強い地域づくりの活動を表彰 優良自主防災組織等表彰式

2月18日(土)に一関市消防本部で優良自主防災組織等表彰式が行われました。

これは自主防災組織等の活動の一層の充実、発展と地域防災力の向上を目的に、優れた活動を行っている組織やその指導者を毎年表彰しているものです。表彰を受けた方々は下記の個人7名と13団体です。(敬称省略)

申請の部(個人)

- 一関地域婦人消防協力隊 副隊長 長山 弘美
- 花泉町婦人消防協力隊 元分隊長 佐藤 恵子
- 大東町婦人消防協力隊連絡協議会 会長 佐山 克子
- 藤沢町婦人消防協力隊 会長 千葉夏代子
- 花泉地区自主防災会 会長 高橋 隆
- 中日向自治会(千厩) 会長 岩淵 孝彦
- 第1-1区自治会自主防災組織(千厩) 会長 菅原 弘行

申請の部(団体)

- 一関市上げいび幼稚園幼年消防クラブ
- 千厩地区婦人消防協力隊
- 川崎町婦人消防協力隊

応募の部

- 舞川3部地区自主防災会
- 一関17民区自主防災会
- 関が丘三民区自主防災会
- 銅谷民区防災部
- 萩荘第3民区自主防災会
- 萩荘第一民区自主防災会
- 花泉地区自主防災会
- 川内地区自主防災会(大東)
- 第9区(西の沢)自主防災会(室根)
- 平泉町第18区自主防災会



「あれから70年」

～昭和22年のカスリン台風から～

当時、一関地方は2年連続して大水害に見舞われ、多くの尊い命を失うなど未曾有の損害を被りました。

昭和22年9月15日のカスリン台風で、磐井川両側の堤防が壊れて氾濫し、北上川狐禅寺の最高水位17.58mを記録し、死者・行方不明者合わせて100人の大惨事となりました。

更に1年後の昭和23年9月16日のアイオン台風では、上流から大量の土砂・流木を含んだ濁流が押しよせ、カスリン台風で崩壊したままの堤防を再び破壊して、市街地に流れ込み、北上川狐禅寺の最高水位15.58mを記録、死者・行方不明者合わせて473人にのぼり、前年のカスリン台風をはるかに上回る犠牲者を出したのです。

平成30年代の完成を目標としている一関遊水地事業は、これらの水害を契機に計画されたものです。

水害の記憶を風化させることなく後世に伝え、災害に強いまちをみんなでつくりましょう。